

2006年度経営プラン

2006年5月12日

 古河電気工業株式会社

- .2005年度決算ハイライト
- .2006年度経営プラン
- .2006年度事業プラン

.2005年度決算ハイライト

2005年度の総括

05年度施策

情報通信の構造改革 < 営業利益151億円改善で黒字化 >

1年前倒し

有利子負債削減 < 469億円 2年間で 1494億円 >

1年前倒し

戦略ファンド活用 < 独トロセレン社買収 > など

05年度実績

売上高史上最高 < 00年度を上回る8725億円 >

全セグメント黒字化 < 00年度以来5期ぶり >

復配 < 3期ぶり3円 >

セグメント別業績推移と予想差

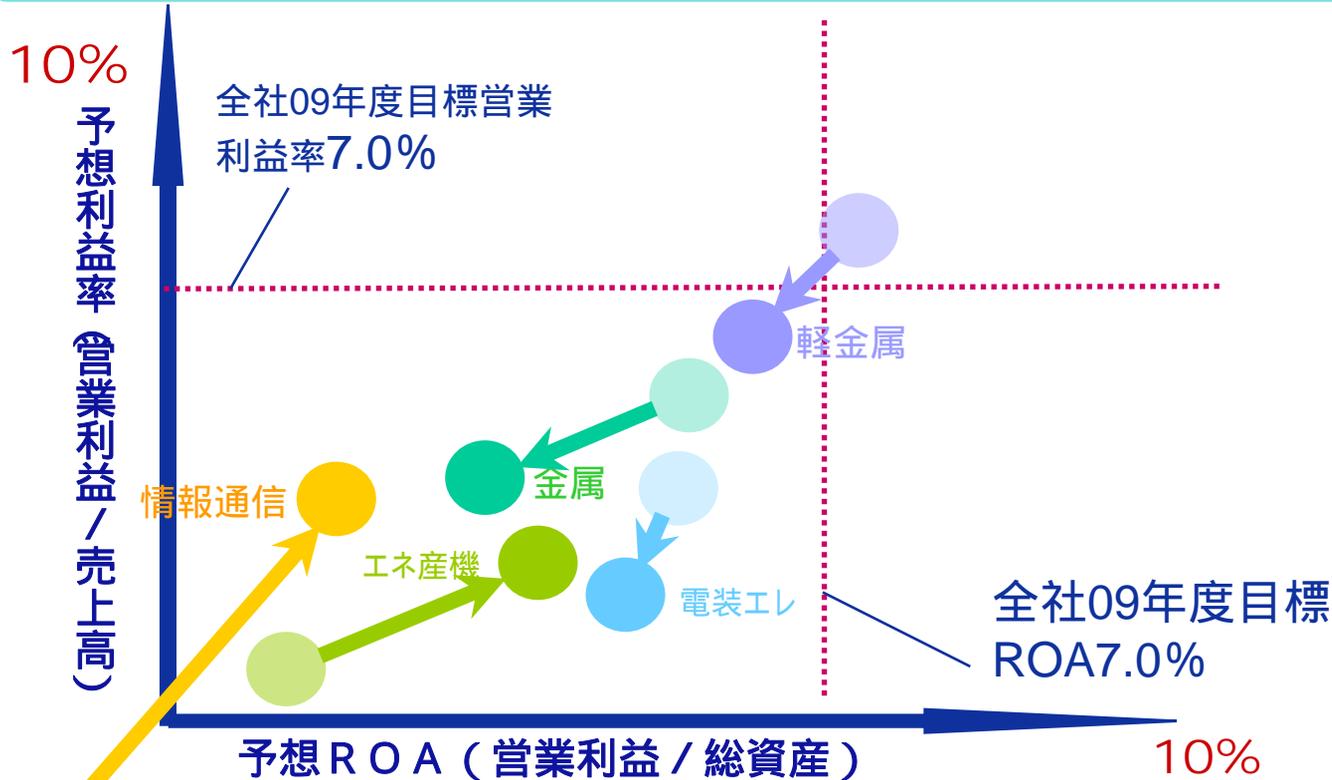
上段：売上高

下段：営業利益

単位：億円

	A		B		C		C-B		C-A	
	2000年度 実績	2001年度 実績	2002年度 実績	2003年度 実績	2004年度 実績	2005年度 (2/9予想)	2005年度 実績	増減 05実 - 05予	増減 05実 - 04実	
情報通信	2,059	2,112	1,514	1,290	1,174	1,435	1,431	-4	257	
	400	56	-607	-313	-98	30	54	24	151	
光ファイバ・ケーブル	956	1,094	871	766	701	842	863	21	162	
	95	51	-524	-240	-97	-10	-2	8	95	
フォトニクス・ネットワーク	1,103	1,018	644	524	473	593	568	-25	95	
	304	5	-83	-73	-1	41	55	14	56	
エネルギー・産業機材	1,730	1,645	1,472	1,708	1,890	2,143	2,175	32	284	
	5	19	35	38	31	72	67	-5	37	
金属	902	831	877	1,004	1,110	1,235	1,334	99	223	
	65	-10	15	48	60	42	49	7	-12	
電装・エレクトロニクス	1,473	1,358	1,396	1,537	1,653	1,944	1,949	5	296	
	39	-13	17	47	57	57	60	3	3	
軽金属	2,145	1,920	1,971	2,073	2,196	2,179	2,168	-11	-28	
	46	29	68	117	163	121	127	6	-36	
サービス他	340	335	298	319	327	343	356	13	29	
	26	25	30	31	24	21	21	0	-4	
消去	-379	-487	-424	-533	-592	-778	-687	91	-95	
	-	-	3	0	0	-2	-3	-1	-3	
合計	8,270	7,714	7,106	7,399	7,759	8,500	8,725	225	966	
	581	107	-438	-32	237	340	374	34	137	

事業ポートフォリオ変化: 04年度 05年度



	04利益率%	05利益率%	04ROA%	05ROA%
● 情報通信	-8.3	3.7	-4.9	2.7
● エネ産機	1.6	3.1	2.1	4.0
● 金属	5.4	3.6	5.5	3.9
● 電装エレ	3.4	3.1	4.9	4.4
● 軽金属	7.4	5.9	7.1	5.2

主な経営指標

(単位:億円)

	04/3末	05/3末	06/3末
総資産	11,107	9,914	10,523
株主資本	1,669	1,758	2,232
有利子負債残高	5,847	4,823	4,353
D/Eレシオ	3.5	2.7	2.0
ROE (株主資本当期純利益率)	-83.9%	9.0%	11.4%
ROA (総資本営業利益率)	-0.3%	2.4%	3.6%
フリーキャッシュフロー	50	730	339
海外売上高比率	21.9%	23.8%	25.9%

.2006年度経営プラン

新中計「イノベーション09」スタート

06年度目標

営業利益 430億円 (前年比15%増)

配当 5円

06年度施策

成長へ向けた積極投資 設備投資増+戦略ファンド

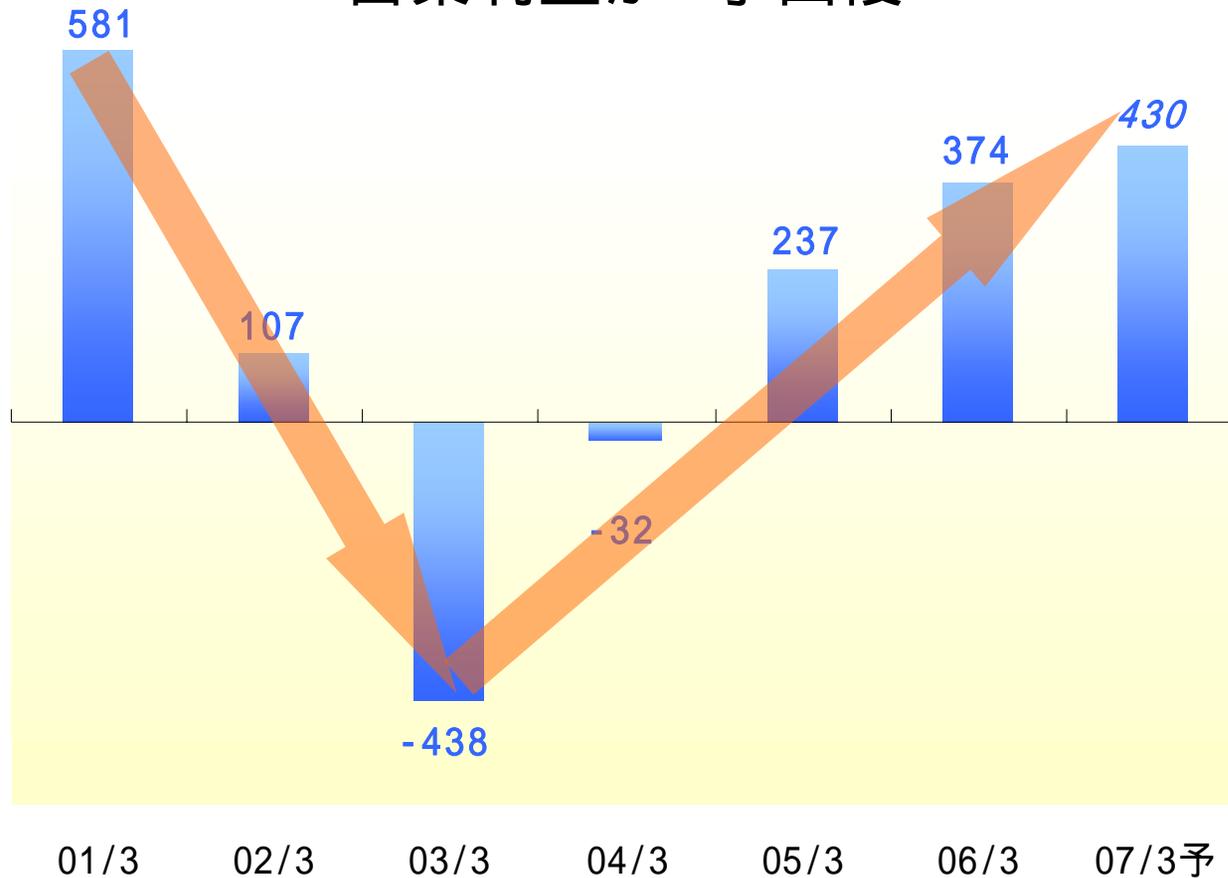
資産効率の改善 棚卸削減等で内部資金創出

海外事業の拡大 グローバル展開の地固め

収益性重視の成長軌道へ

(単位:億円)

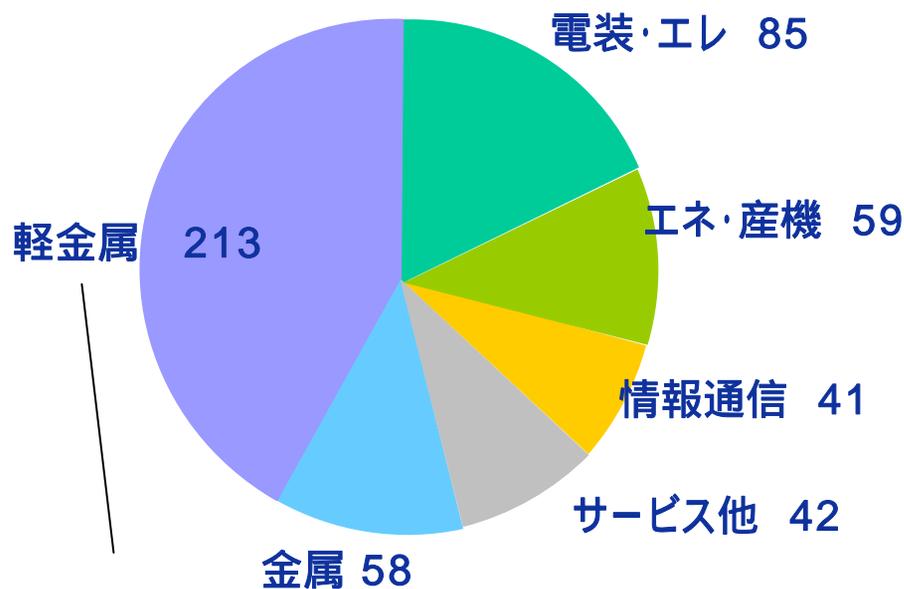
営業利益がV字回復



06年度設備投資：素材力強化に向け積極化

498億円を投資+戦略ファンド活用 (償却費362億円)
 (05年度実績309億円)

06年度内訳 (単位:億円)



素材系に50%超

主な投資

軽金属：冷延モーターAC化
 金属： 条・メッキ・箔増産
 エネ産機：フネンエース増産

2006年度業績予想

(単位: 億円)

	2005実績	売上高比率	2006予想	売上高比率	+ / -
売上高	8,725		9,500		+775
営業利益	374	4.3%	430	4.5%	+56
経常利益	470	5.4%	320	3.4%	-150
当期純利益	255	2.9%	150	1.6%	-105

05年度営業外損益
為替益 + 142億円

06年度営業外損益予想
為替損 - 58億円

前提条件を変更

	中期06	06新予想
為替(¥/\$)	115	110
銅(¥/kg)	500	600
アルミ(¥/kg)	230	300

セグメント別2006年度業績予想

上段:売上高

下段:営業利益

単位:億円

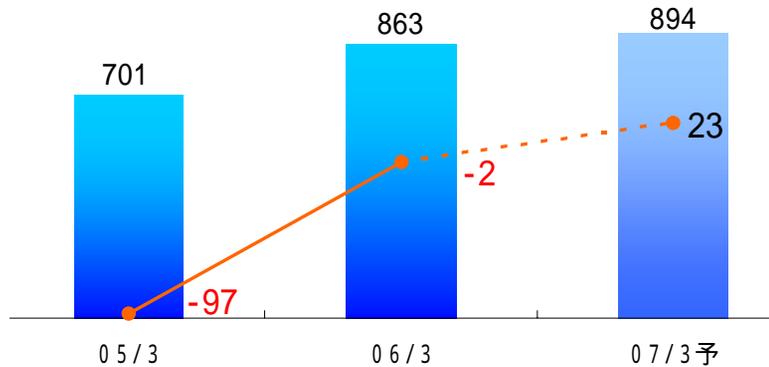
	A	B	C	C-A	C-B
	2005年度 実績	2006年度 中期計画	2006年度 新予想	増減 06新 - 05実	増減 06新 - 06中
情報通信	1,431	1,463	1,473	42	10
	54	55	65	11	10
光ファイバ・ケーブル	863	885	894	31	9
	-2	16	23	25	7
フォトニクス・ネットワーク	568	578	578	11	0
	55	39	41	-14	2
エネルギー・産業機材	2,175	2,290	2,555	381	265
	67	83	83	16	0
金属	1,334	1,368	1,483	149	115
	49	49	49	0	0
電装・エレクトロニクス	1,949	2,093	2,140	191	47
	60	64	64	4	0
軽金属	2,168	2,373	2,480	312	107
	127	164	164	37	0
サービス他	356	374	374	18	0
	21	16	16	-5	0
消去	-687	-961	-1,006	-318	-45
	-3	0	-10	-7	-10
合計	8,725	9,000	9,500	775	500
	374	430	430	56	0



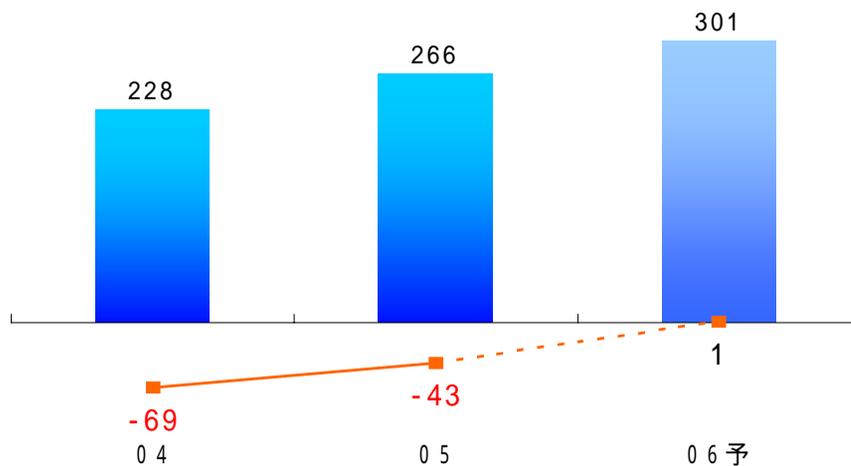
.2006年度事業プラン

情報通信 < 光ファイバ・ケーブル >

(棒:売上高 線:営業利益 単位:億円)



OFS 業績 (単位: M \$)



06/3期実績(前年比)

【売上高】+23%

【営業利益】+95億円

FTTHビジネス需要本格化

事業構造改革効果

OFSのEBITDA黒字化

07/3期施策

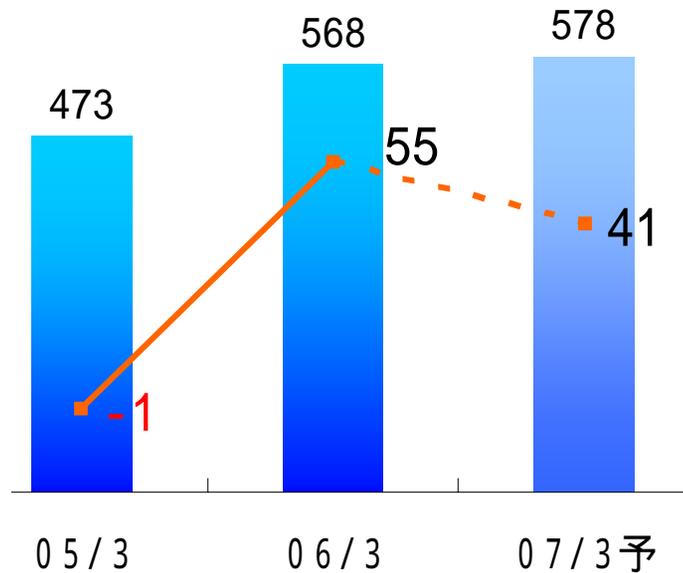
OFS事業 --- ケーブルとスペシャルティ
ファイバ拡販による営業黒字化

国内 --- FTTH製品拡販

グローバル --- FTTx強化

情報通信 < フォトニクス・ネットワーク >

(棒:売上高 線:営業利益 単位:億円)



06/3期実績 (前年比)

【売上高】+20%

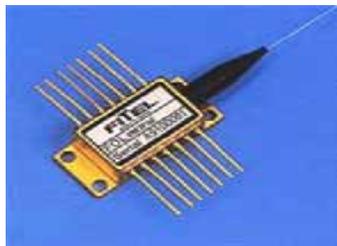
【営業利益】+56億円

グローバルWDM+国内FTTH増加
海外生産でコストダウン

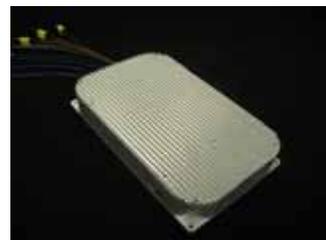
07/3期施策

国内 FTTH製品の拡販 / 価格競争続く
コストダウンで対応

グローバル--次世代デバイス「波長可変型」
のリーダーめざし拡販



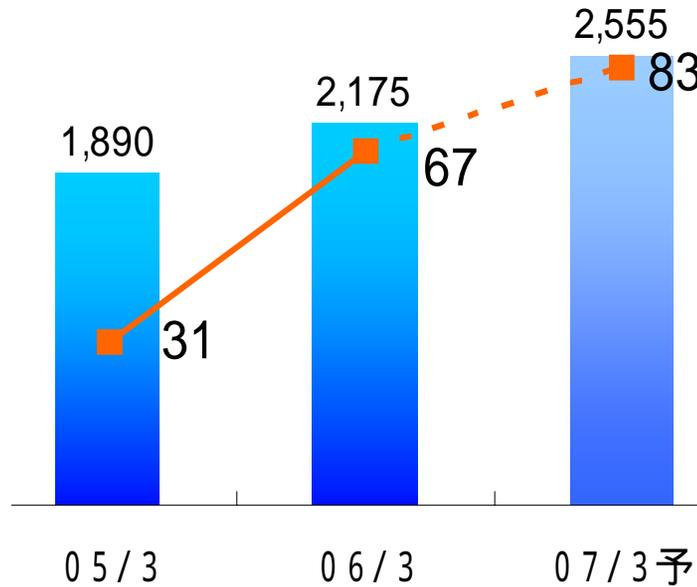
半導体レーザー



ROADM

エネルギー・産業機材

(棒:売上高 線:営業利益 単位:億円)



06/3期実績 (前年比)

【売上高】+15%

【営業利益】+37億円

銅線シェアトップの維持・拡大

産業機材(プラスチック)はアプリケーション拡大で売上増

07/3期施策

< エネルギー >

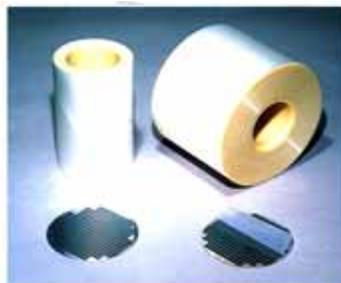
銅合金線の拡販とコストダウン

< 産業機材 >

独トロセレン社売上高100億円連結計上

半導体テープ増産で能力アップ

アスベスト代替「フネンエース」拡販



半導体テープ

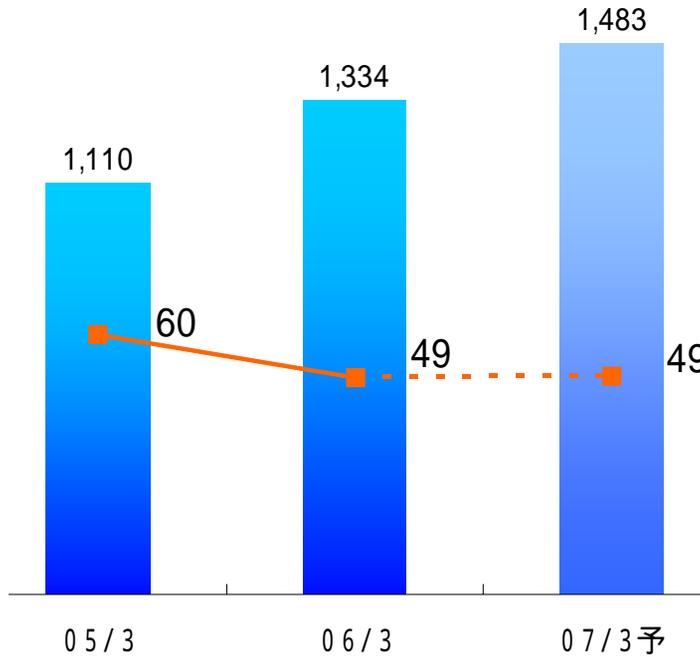


マイク発泡樹脂MC-PET



金 属

(棒:売上高 線:営業利益 単位:億円)



06/3期実績 (前年比)

【売上高】+20%

【営業利益】-12億円

上期のIT、エアコン在庫調整響く
下期に電子市場向け急回復

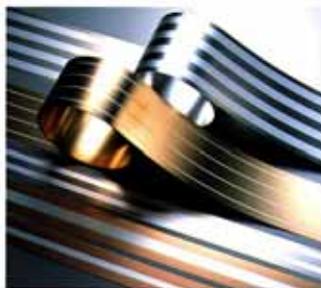
07/3期施策

< 電子材 >

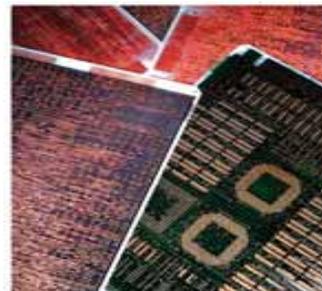
戦略ファンドで自動車向けおよび
電子部品関連の条設備強化

< 銅管 >

高付加価値製品およびアジア生産の
強化



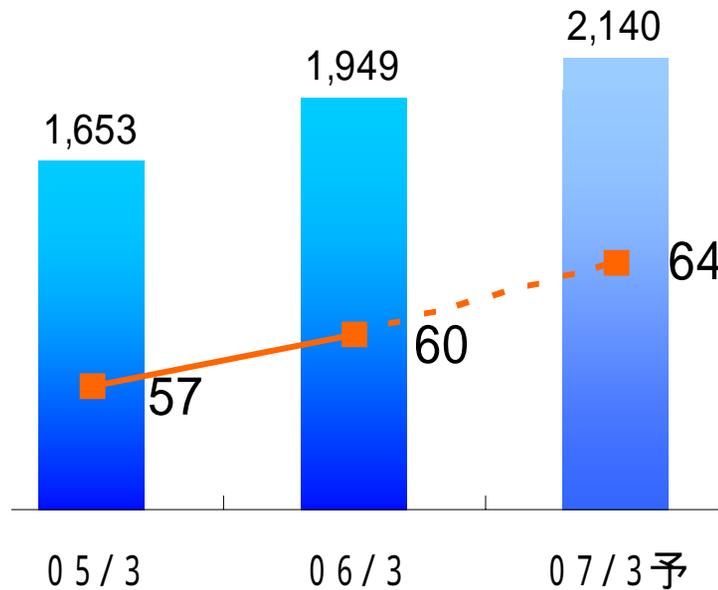
リードフレーム用銅条



電解銅箔応用例

電装・エレクトロニクス

(棒:売上高 線:営業利益 単位:億円)



エアバッグ用コネクタSRC



ハードディスク用メモリディスク

06/3期実績 (前年比)

【売上高】+18%

【営業利益】+3億円

新モデル向けハーネス順調

HD用メモリディスク売上増

07/3期施策

<自動車部品>

メタルコア基板等新商品の売上倍増

中国事業の拡大

<エレクトロニクス>

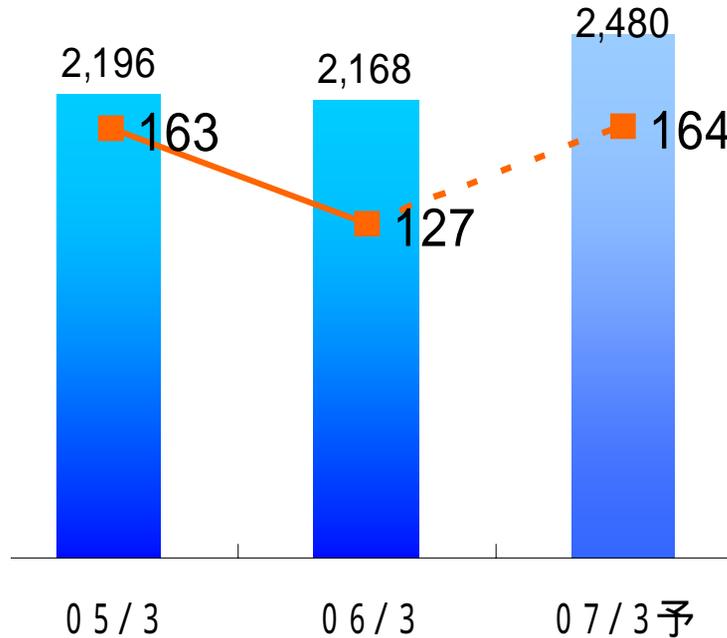
サーマル(放熱)部品の拡販

メモリディスク、耐熱巻線シェアアップ



軽金属

(単位: 億円)



ボトル缶



コンプレッサ-ホイール

06/3期実績 (前年比)

【売上高】 -1%

【営業利益】 -36億円

- ・IT関連市場の在庫調整長期化
4Q以降は回復基調
- ・地金急騰、燃料価格高騰などが製造コスト圧迫

07/3期施策

< 営業施策 > : 成長製品の取込み

- ・航空機材、コンプレッサ-ホイール増産
- ・厚板、ボトル缶向け対応強化

< コストダウン >

- ・板生産集約、設備更新

< 増産対応 >

- ・焼入設備、東南ア 鋳物・押出設備



将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。